

平成 30 年 1 月 16 日

東 北 運 輸 局

東 北 経 済 産 業 局

東北観光産業支援連携ボードの設置について

東北運輸局と東北経済産業局は、両局の持つ支援施策を連携させ新たな観光ビジネスを創出・育成するための「東北観光産業支援連携ボード」を立ち上げます。観光産業に係る地域コンテンツ創出やプロモーション企画を通し、継続的な販路の開拓・拡大に向けた取組みや観光関連産業の生産性向上に向けた事業を推進します。

1. 連携ボードの事業内容

連携ボードにおけるテーマとして「①観光産業に係る地域コンテンツの販路開拓・拡大」、「②観光産業に係る各事業者における生産性向上」及び③「情報発信」の3つとします。

新しい観光ビジネスツールの開発を関係機関と連携して実施するとともに顧客ニーズに合わせた民間事業者の広域連携を推進します。

※連携ボード推進体制(別紙のとおり)

①観光産業に係る地域コンテンツの販路開拓・拡大(別添1)

地域コンテンツと販売チャンネルを結ぶためのプラットフォームを構築するため、LCCなどの旅客部門と地域コンテンツを直結することで、地域コンテンツの販売チャンネル拡大を推進します。

②観光産業に係る各事業者における生産性向上(別添2)

宿泊施設や二次交通などに対する専門人材派遣等を通じ、宿泊施設や二次交通の生産性向上に向けた取組みを推進します。

③情報発信

DMO[※]や観光関連事業者への施策、物産、まちづくりに関連する事業者へ両局による協働の施策説明などを実施します。

2. 体制

当面の業務は、東北運輸局観光部観光地域振興課と東北経済産業局産業部産業振興課が連携してこれを行い、必要に応じて地方管区の関係者を含め、体制を強化してまいります。

(本発表資料のお問い合わせ先)

東北運輸局観光地域振興課長 栗田利彦

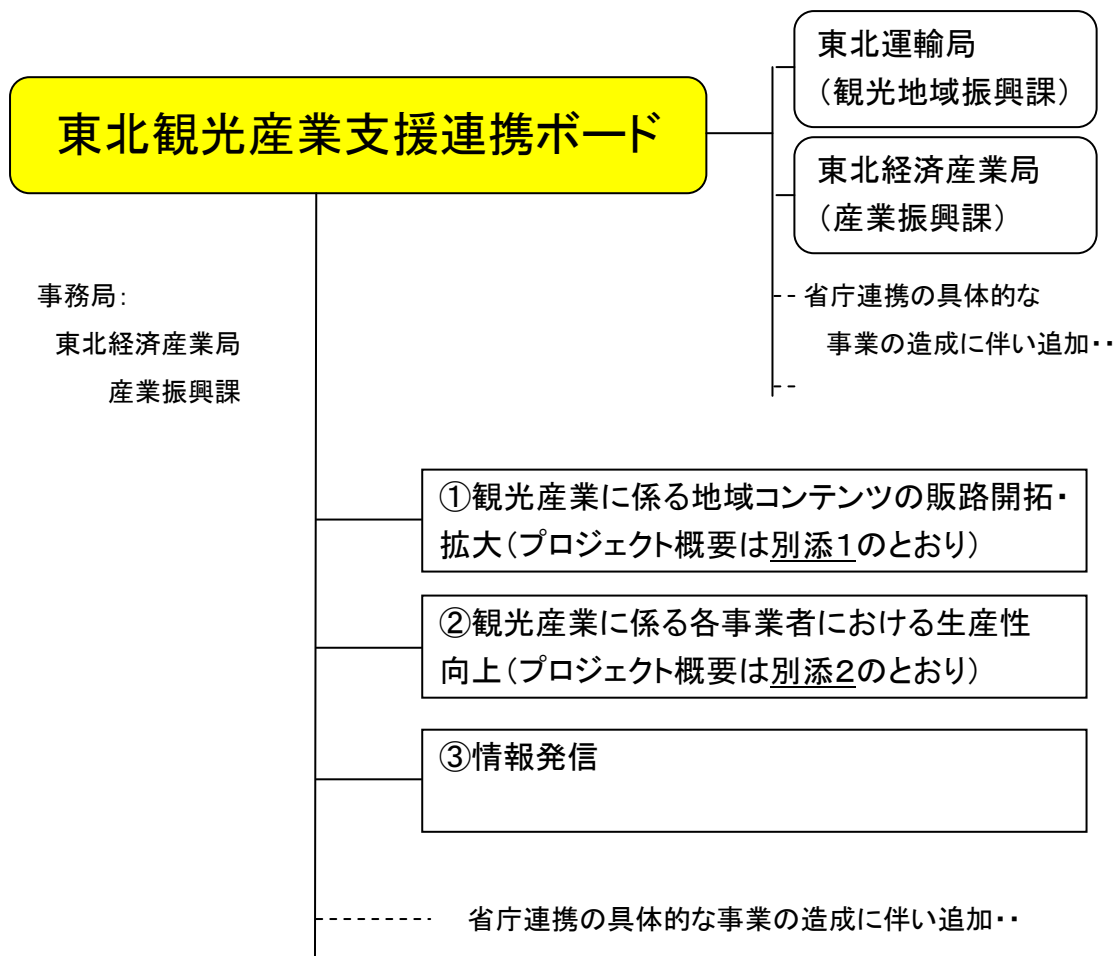
担当者:石山、渋谷 電話:022-380-1001(直通)

東北経済産業局産業振興課長 遠藤憲子

担当者:安藤、井元、田中 電話:022-221-4906(直通)

<連携ボード推進体制>

※「明日の日本を支える観光ビジョン」の方向性に沿って事業展開



各組織・施策を適宜活用することで効果的な事業推進を行う

※DMO: Destination Management Organization。地域の観光資源に精通し、地域と協同して観光地域作りを行う法人のこと。



観光産業に係る地域コンテンツの販路開拓・拡大

平成30年1月

東北経済産業局産業部産業振興課

東北運輸局観光部観光地域振興課

- ・農商工を絡めた地域コンテンツの磨き上げと観光産業との連携
- ・地域コンテンツの造成と利用顧客データの収集分析
- ・各DMO等と交通事業を結びつけた新たな消費拡大システムの構築と交流人口の増大

東北経済産業局



東北運輸局

両局の強みを活かし、両局の連携による地域の消費拡大、観光産業関連の取組みを行う

新たな観光資源の開拓と需要創出



地方空港のゲートウェイ機能強化と
LCC[※]就航促進

東北への入込客数を増やしコンテンツの販路拡大・消費拡大へつなげる

※LCC:Low Cost Carrier。効率的な運営により低価格の運賃で運航サービスを提供する航空会社。

LCCなどの一次、二次交通を絡めた旅客部門と地域コンテンツを直結し、
地域コンテンツの販売チャンネルとするためのプラットフォームの構築

ふるさと名物（地域資源等）・
観光サービス産業などの事業の
拡大

新たな消費の拡大と交流人口の
増大

○東北の観光の現状と課題

1. 東北における国内旅行者は、ほぼ関東圏と函館・札幌が中心。関東以西からの誘客は開拓の余地あり。
2. 東北の外国人旅行者は増加傾向にあるものの、他地域に比較するとまだ低水準。
3. 地域コンテンツ創出事業やプロモーションは各所で盛んに行われているものの 継続的な販路の開拓・消費拡大に向けた取組みについてまだまだ取り組めていないのが現状。
4. 東北においても観光消費の大部分は宿泊であり、地域での体験などコト消費、地域での飲食などこれらの魅力的なコンテンツで稼ぐための仕組みづくりを進めることも重要。
5. 東北においても個人手配 (F I T 含む) が増えている (旅行の多様化) 。

○本事業の方向性

1. 西日本国内旅行者・外国人旅行者等をターゲットにした取組みとする。
2. 多様なニーズを吸い上げ顧客満足度向上・高付加価値化・積極的な情報発信などを可能とするための I o T を基盤とした観光コンテンツ等の販売のシステム・仕組みを構築する。
3. 地域でのコト消費、飲食など、幅広い領域で連携した「パッケージ」で稼ぐ仕組みの構築。
4. 地域コンテンツを一次・二次交通の販売チャンネルに結び付けるためのプラットフォーム (観光客に対し、最も早いタイミングとなる旅客部門における販売チャンネルに結びつけた地域コンテンツ販売の仕組み) を構築する。

一次交通・二次交通における販売システム構築における仕組みづくりへの協力

地域コンテンツ作成と顧客データ収集の仕組み



一次交通：
LCC、旅客ハブなど

二次交通：
地域の高速バス会社など

DMO等

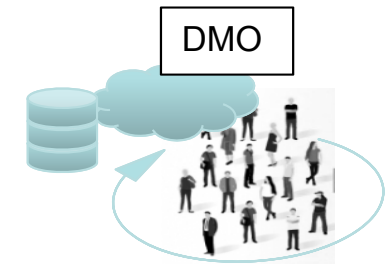
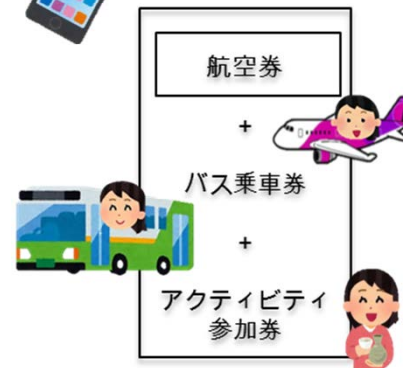
コンテンツ：
ふるさと名物（地域資源・
農商工連携事業など）、
自治体、中小企業者 など

交流人口増大



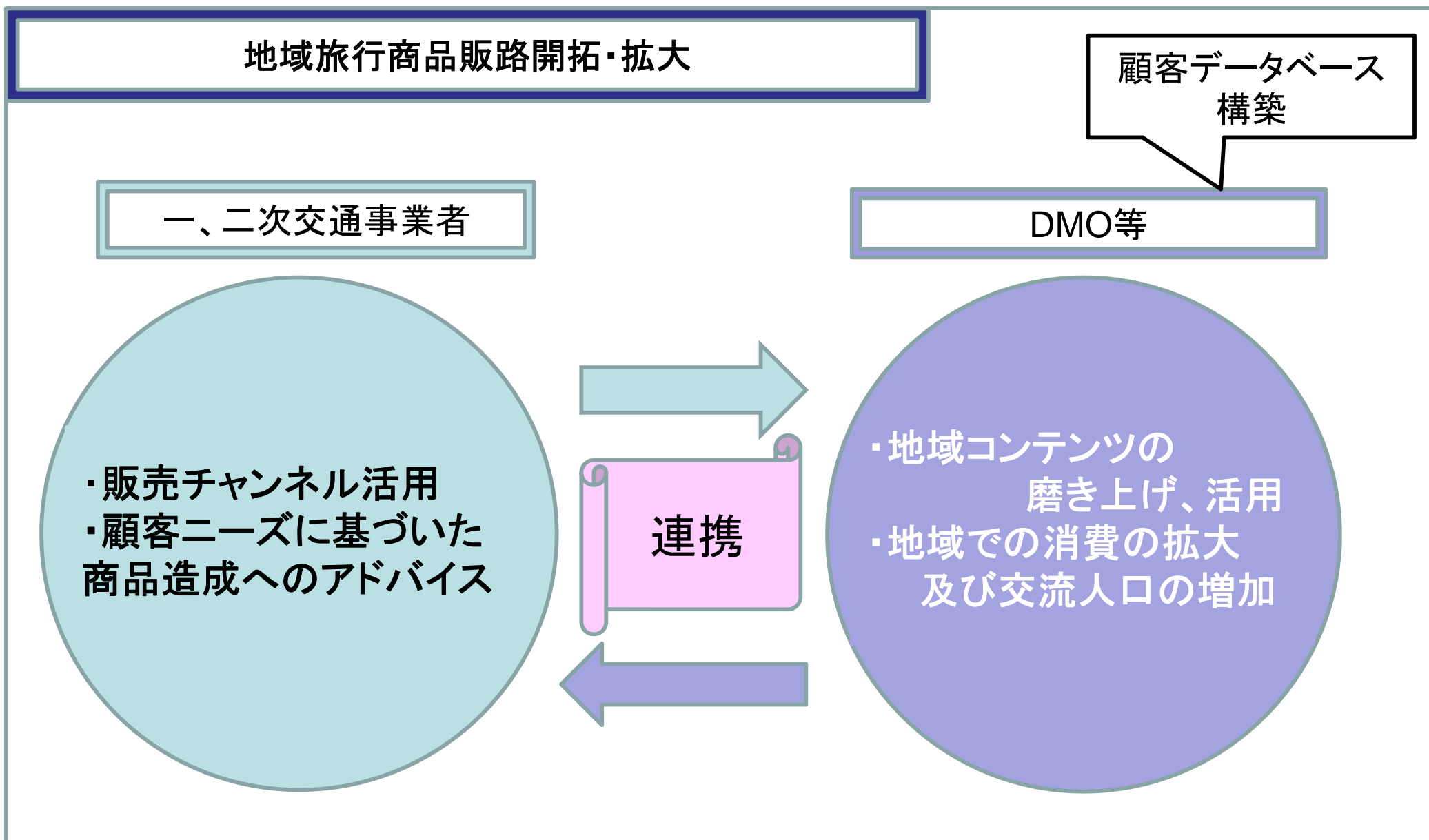
消費拡大

目的地決定段階における
コンテンツの購入



地域で造成・組成したコンテンツをLCC（旅客ハブ）の
販売チャンネルに直結させるプラットフォームを構築。

地域コンテンツと販売チャンネルを結ぶプラットフォーム





観光産業に係る各事業者における 生産性向上

平成30年1月

東北経済産業局産業部産業振興課
東北運輸局観光部観光地域振興課

本事業の目的とは

本事業の目的

- ・ 宿泊施設や二次交通などの個社（事業者）に対する生産性向上支援



旅行消費に係る3～4割を占める宿泊の稼働率向上や地域コンテンツ密度の低い東北における二次交通の搭乗率向上は東北地域における観光産業において重要な成長ファクター。

運輸局の業所管ネットワークと経産局に関連する専門家派遣事業などを連携することで、専門家派遣の間口を広げ、支援のキッカケを多く創出することで、最終的な収益性向上を実現するものとする。